

# 連携協定を締結

岡山で調印式

吉備国際大などを運営する高梁学園（高梁市伊賀町）と公設国際貢献大（新見市哲多町田淵）は十一日、国際貢献・協力の分野で講座の合同開催や学生のインターンシップなどを進める連携協力を協定を締結した。

本年度、同大に国際協力をテーマにした県内初の大学院国際協力研究科

（通信制修士課程）が発足したのがきっかけ。国内外の被災・紛争地で活動する人材を育成するとともに、国際協力や地域支援活動でも連携し、国際貢献先進県岡山の推進に寄与する。

調印式は岡山市奉還町の岡山国際交流センターで行われ、学園の加計美也子理事長や大学校運営

機構の的野秀利理事長、石井知事、国際医療ボランティアAMDグループ（本部・同市檜津）の菅波茂代表が出席。

加計理事長は「連携を契機にボランティアを通じた学生交流、共同研究などを推進し、国際社会で広く活躍する人材を輩出したい」とあいさつ。的野理事長は「高梁学園の学生は授業に加え、大学校側の事業で実習でき、ダブルスクール」のような形式がとれる」と意義を強調した。

協定内容は、講座・研修の合同開催や教育スタッフの相互派遣▽大学校への学生のインターンシップとしての受け入れ▽AMDグループが発展途上国で行う緊急救援事業などへの学生派遣などを想定。近く連携推進委員会を立ち上げ、事業内容を具体化する。



国際社会に貢献できる人材育成の推進に向け、手を取り合う（左から）石井知事、加計理事長、的野理事長、菅波代表